

令和元年度 音声教材普及推進会議

読みと意味理解に困難がある 児童への支援について

～アクセスリーディングを通して～

士幌町こども発達相談センター

所長 狩 野 信 也

北翔大学 非常勤講師

士幌町こども発達相談センターの概要



<主な事業>

- | | | | |
|---------------|---------------|-----|------|
| ・発達支援事業 | (2歳～18歳未満) | | |
| ・指定障害児相談支援事業 | (2歳～18歳未満) | | H30～ |
| ・児童発達支援事業 | (就学前児童) | 10名 | H28～ |
| ・放課後等デイサービス事業 | (就学後児童～18歳未満) | 36名 | H28～ |
| ・保育所等訪問支援事業 | (年少～小学生) | 2名 | H31～ |

<職員数> 正職員 3名 準職員 1名 臨時職員 4名 (事務職1名)

通所児の内訳（個別療育・指導、交流－1時間）

○ダウン症

○難聴

○緘黙

○言語障害（構音、吃音、言語発達の遅れなど）

○聴覚障害

○発達障害

- ・自閉症スペクトラム障害

- ・A D／H D

- ・S L D

○発達障害の疑いがある児童（幼児含）

読み書きの困難な子への指導方法

<読み>

- ・ことばのテーブル おはなし読解プリント 初・中・上級編
- ・絵カード、絵本、教科書等
- ・アクセスリーディング
- ・M I M

<書く>

- ・コグトレ、うんぴつひらがなトレーニング等
- ・i P a d

<認知トレーニング>

- ・注意制御機能向上に関すること
- ・聴覚性ワーキングメモリに関すること

<ビジョントレーニング>

<感覚統合>

読みや意味理解に困難がある児童について

・アクセスリーディング使用開始 平成30年5月～

<事例1 A児 ○年生（高学年）> 「情緒面に課題」

本児と同学年の国語教材（物語など）を音読で読むときに1行につき3～4箇所躓く。「読み間違え、書いていない言葉を省略する、漢字の読みもうろ覚え、など正しく読むことができない。読み終わった後に簡単な質問をすると、正しく答えることができない項目が40%～50%程度見られる。全体的にたどたどしい読み方となる。表現読みができない。黙読でも内容を読み取ることが難しい。

・アクセスリーディング使用開始 令和元年6月～

<事例2 B児 ○年生（中学年）> 「不注意／多動傾向」

1行に1～2回はつかえたり。読み間違ったり、省略したりすることが見られる。読み終わった後に何が書いていたかを質問すると答えられないことが多い。不注意傾向、落ち着きない様子が見られ、身体を動かしていることが多い。

・アクセスリーディング使用開始 令和元年7月～

<事例2 B児 ○年生（低学年）> 「読み書きに課題」

短い文でも読み間違え。言語表出も弱い。漢字の読み方も定着するまで時間がかかる。読み終わった後に意味を尋ねると答えられないことが多い。算数の文章題も意味をとらえることができない。

読みのプログラム

- 1 読む範囲を決める。
- 2 わからない漢字を教えてください。
- 3 音声を聞きながらカーソルを目で追って読む。
 - ・読みの速さは、自分で調整する。
- 4 カーソルを目で追って読む。
 - ・読みの速さは、自分で調整する。
 - ・自分で上手に読めたと思うまで練習する。
- 5 読み終わったら、質問をしてもらう。
- 6 振り返る。

<事例 1 A児 ○年生（高学年）>

<本児の認知面>

小○年10月

○○○○○○判定

(1) H○9年2月通所開始 情緒面の療育開始

①WISC-IV ・全検査IQ：○8，GAI：○8<CPI：○6

VCI：○9，PRI：○2，WMI：○1，PSI：○○2

②CARD包括的領域別読み能力検査 語彙指数：○0，音韻経路指数：○7，単語の活性化指数：○0，統語指数：○1、読解指数○8

音を聞き取る力と音声と文字を正確に一致させる力が弱い。音を聞き取って、言葉に分解したり語音を合成したりする力も弱い。注意力維持の弱さも絡むので、更に聞き取れる範囲が狭まる。読解力が低い。読むスピードが遅いだけでなく、他者の視点や感情に関する内容を理解して読み取る力が弱い。

(2) ベンダーゲシュタルトテスト：6～7歳代の模写水準、現実に対する自我機能の弱さ、計画性の貧困さ、材料を組織立てる能力の未熟さが示される。

個別支援計画

第9号様式
作成年月日 2010年〇月〇8日

到達目標	長期（内容・期間等） 概ね1年	様々な体験を通して、自尊感情を高め、社会的なコミュニケーション能力を培う。
	短期（内容・期間等） 概ね6ヵ月	・ソーシャルスキルトレーニングなど体験的な課題解決を通して自己理解を促し、自尊感情を育む。 ・保護者や学校との行動連携に努め、支援目標や支援内容の共通理解を図る。

○具体的な到達目標及び支援計画等

項 目		具体的な到達目標	支援内容（内容・留意点等）			
発達支援	社会的ルール	・決められたルールに従って行動したり、修正したりすることができる。	・社会的ルールを身に付けるために、SSTを実施したり、ゲームや遊びを通して社会的ルールの習得をさせる。	・アクセスリーディングを活用して読みの力を高める。 ・漢字や計算が円滑に表出できるように努める。 ・「認知トレーニング」を通して注意集中する力を高める。		
	情緒・行動	・自分や相手の感情に気づいたり、コントロールしたりする力を身に付ける。	・衝動性や不安感を抑えるカウンセリング技法（論理療法等）やエンカウンターなどを通して、セリフコントロール力を身に付ける。			
	メタ認知能力	・読み書きの力を学年レベルまで高める。				
家族支援		・保護者と共通理解をもって療育に当たる。	・親の思いや考えを丁寧に受け止め、家庭内においても、楽しく過ごせるように助言する。	随時	担当、児発管、管理者	4
地域連携		・学校との共通理解・共通行動をもって指導に当たる。	・学校、祖父母、児相とも連携し、引き続き情報交流を続ける。	随時	担当、児発管、管理者	5

総合的な支援方針
○児にとっての居場所となるよう愛着形成を図りながら、次のことに留意した療育を行う。①感情コントロールの調節②自尊感情の醸成③課題の切り替え
○日中一時支援施設、家庭、学校との連携を図る。
○苦手なことの克服に努める。

H〇〇年〇月〇日アクセスリーディング活用

- ・通所から約1年、教科書を使って読みの指導をしてきたが、意欲や進歩が見られなかった。
- ・アクセスリーディング使用前後における指導記録の抜粋より

〇〇年3月

*  使用前記録

- ・長文読解（説明的文章）
- ・文章の部分的な読み取りはできるが、文章構成と接続詞などについては、できないことが判明する。
- ・今後、文章構成と文法について実施する。
- ・文章を読むことについては、読み飛ばしはなくなったが、たどたどしさは余り変化がない。
- ・このことが上記の課題と密接に結びついていると思われる。

○0年4月

○長文読解（物語的文章）

・ わからない漢字は教えると、次に同じ漢字が出てきても覚えて読むことができる。消えたを「い消えた」、気がつくを「気づが」、休みを「中休み」と付加したり、省略して読んでいた。

○内容について質問すると答えることができた。

・ いつ、だれとだれが、どんな話を、どうした

○0年7月（アクセスリーディングを活用して3ヶ月後）

・ アクセスリーディングを使用して行わせた。

1 A R の指示通りに読む。（音声・視覚指示）

2 視覚指示だけで読む。

3 教科書の内容を読む。

・ 1 頁の範囲（5 年生の国語）

・ 一箇所だけ、読み間違えたが、後は全てクリアする。

・ A R の速さで読ませるように配慮する。

4 「読めること」に少し自信をもったようだ。

○0年 9 月

・読む速度を普通にして、目印に合わせて読もうという意識が出てきた。

①音声と視覚

②視覚だけ

③教科書を読む。（エラー箇所4箇所）

＊だんだん正確に読めるようになってきている。

○0年 1 0 月

大造じいさんとがん

○音声入りで読む。（1段落）

・何とか音声を頼りに読むことができた。

○同じ箇所を音声無しで読む。

・音声がなくなると、漢字の読みにつまずいていたので、予め、漢字の読みについて、確認しておくべきだった。

○0年 1 1 月

世界遺産白神山地

○教科書のコピーを使う。

- ・音韻ごとに区切る。
- ・カメの速さで読む。

○音韻ごとに区切るとエラーがなくなる。速さについては、制限する。

○教科書で読む（区切りのない文章）

- ・音韻を意識させる。
- ・段々速くなり、エラーが出始める。（付加、言いかえ）
- ・速さについての指示を入れると訂正できた。

○最後の段落は、エラー無し

*但し、最初から最後までTによる調整はあり。

○0年 1 2 月

○「森林の働き」を読む。

- ・読み方のわからない漢字は教えたが、読み替え、省略もなく、音韻を意識して読むことができた。
- ・問も自分で読み、答えさせた。
- ・統語に間違いがあった。「～も～も」
- ・読み取りが1問答え方が不十分であった。
- ・自分で間違いを振り返られるようになった。

認知トレーニング（注意の選択）



となりどうしの数をたすと、10になるものを○でかこみましょう。

やりかた → 1 5 8 2 4 3 7 9 9 7
5 0 9 1 7 4 2 3 9 3 よこ

15

1	4	6	3	6	2	2	8	3	5	2	2	2	3	6
1	1	4	6	6	6	8	5	2	3	5	9	6	5	5
4	3	9	8	0	0	1	5	3	3	1	4	1	4	1
2	2	8	3	4	5	0	3	5	8	4	5	8	6	2
5	8	2	5	1	2	1	2	9	5	9	5	3	6	9
0	9	8	9	6	3	6	5	9	8	9	2	3	2	1
9	6	3	0	3	1	8	3	1	9	6	1	0	0	6
3	9	7	8	9	1	5	5	9	2	8	9	1	3	0
6	7	0	6	5	4	7	0	2	9	4	3	7	1	5
0	6	4	3	8	0	3	2	1	8	7	7	3	7	0

[あ]から[ん]までのひらがながバラバラにならんでいるよ。
50音順に○をつけよう。できるだけ早くつけよう。
おなじひらがながいくつかあるときは、つづけてみおとさないように○をつけよう。



あ	た	も
の	は	み
の	こ	ん

あ	は	お
も	た	む
へ	ゆ	ん

あ	お	き	け
く	そ	ふ	は
せ	む	こ	も
つ	せ	い	ん

め	ま	き	あ
り	あ	そ	る
ろ	よ	の	の
ん	は	し	あ

ア行 30 ナ行 12 マ行 18 ラ行 19

したの文をよんで、「あいうえお」「なにぬねの」だけに○印をつけよう。

「まみむめも」「らりるれろ」

れんしゅう

あるところにおじいさんとおばあさんがいました。

むかしむかし、あるところに、たいへんあしのはやいおとこがいました。あんまりあしがはやいので、みんなから、はしるめいじんとよばれています。あるとき、はしるめいじんが、どろぼうをおいかけていますと、むこうからともだちがやってきました。なんだなんだ、そんなにあわててどうした。と、ともだちがきくと、このはしるめいじんは、じつはどろぼうをおいかけているんだ。とこたえました。ともだちは、なに、そのどろぼうは、どこだ、どこだ、ときくと、はしるめいじんは、ほれ、うしろからはしってくる、とこたえました。

○理解度の評価として

- ・ 同学年、教科書の進度と同等の内容のテストを実施する。
(国語習熟プリント)
- ・ 説明文 森林のおくりもの・・・85％程度の理解

年度末評価

3	・読み書きの力を学年レベルまで高める。	達成	ほぼ達成	未達成	・アクセスリーディングでの音韻を踏まえた読みの訓練が転移し、国語の教科書をある程度円滑に読むことができるようになった。但し、事前に漢字の読みは確認している。そのため、意味理解もできるようになってきた。 ・漢字の書きについては、学校での学びと家庭での練習で習得できている様子なので、ここでは、行わなかった。	・引き続きアクセスリーディングを活用し、読みの精度を高める。
---	---------------------	----	------	-----	---	--------------------------------

* 家庭や学校での適応状況が改善されたため、町の判断も含め四者の話し合いにより、退所としたため、検査は行わなかった。

<事例2 B児 O年生（中学年）>

< B児の認知面 >

- ・ W I S C - IV検査 FSIQ : ○ 8、 VCI : ○ 0、 PRI : ○ 1
(2 0 1 ○ 年 11 月) WMI : ○ 4、 PSI : ○ ○ 1
- ・ 2 0 1 ○ 年 前 期 「 個 別 指 導 計 画 」 の 一 部 抜 粋

情緒・行動	課題を通して、注意・集中力が身につく	・ 絵本、教科書を読む。(ゆっくり、落ちついて字を飛ばさず読む。)	週1回
		・ 落ち着いて課題に取り組み、最後までやり遂げた満足感を、味わえるようにする。(長期間で仕上がる課題に取り組む)	
		・ 短期記憶の力をつけていく。	

B 児の読みの状況（6／○）

○ 4 年国語上 「ぞろぞろ（落語）」 2 ページ分

- | | | |
|---|-------------|-----------------------|
| 1 | 漢字が読めない | 1 |
| 2 | 漢字の読み間違い | 2（浅草→やま草） |
| 3 | 単語の文字を抜いて読む | 1（おいなり→おなり） |
| 4 | 1 字付加 | 4（やっているという→やっているのという） |
| 5 | 助詞の読み間違い | 1（別に→別の） |
| 6 | 拗音で読む | 1（ごりやく→ごりやく） |
| 7 | 動詞の言い換え | 3（落ちてる→落ちてきた） |
| 8 | 次の言葉が出てこない | 1 |

アクセスリーディングを使用して読み間違った箇所

「一つの花」の2ページ分

B 児の読みの状況（7 / ○）

○ 4 年国語上 「一つの花（物語）」 2ページ分

- | | | |
|---|------------|----------------------|
| 1 | 漢字が読めない | |
| 2 | 漢字の読み間違い | 4（配給→はいしょく） |
| 3 | 文字を抜いて読む | 2（ころのこです→ころです） |
| 4 | 付加して読む | 1（どころでは→どころばかりでは） |
| 5 | 助詞の読み間違い | 1（戦争の→戦争が） |
| 6 | 拗音で読む | |
| 7 | 動詞の言い換え | 1（ありませんでした→おりませんでした） |
| 8 | 次の言葉が出てこない | |

B 児の読みの状況（7／○）

○ 4 年国語上 「一つの花（物語）」 2 ページ分

- | | | |
|---|------------|------------|
| 1 | 漢字が読めない | |
| 2 | 漢字の読み間違い | 2（作者の名前） |
| 3 | 文字を抜いて読む | 2（前回と同じ箇所） |
| 4 | 付加して読む | |
| 5 | 助詞の読み間違い | |
| 6 | 拗音で読む | |
| 7 | 動詞の言い換え | |
| 8 | 次の言葉が出てこない | |

指導場面の様子

- 1 音声ー遅く～速く（自分で調整する）
- 2 無音ー遅く～速く（自分で調整して、リズムをつかむ）
- 3 感想を述べる（満足感、達成感）

<事例3 C児 O年生（低学年）>

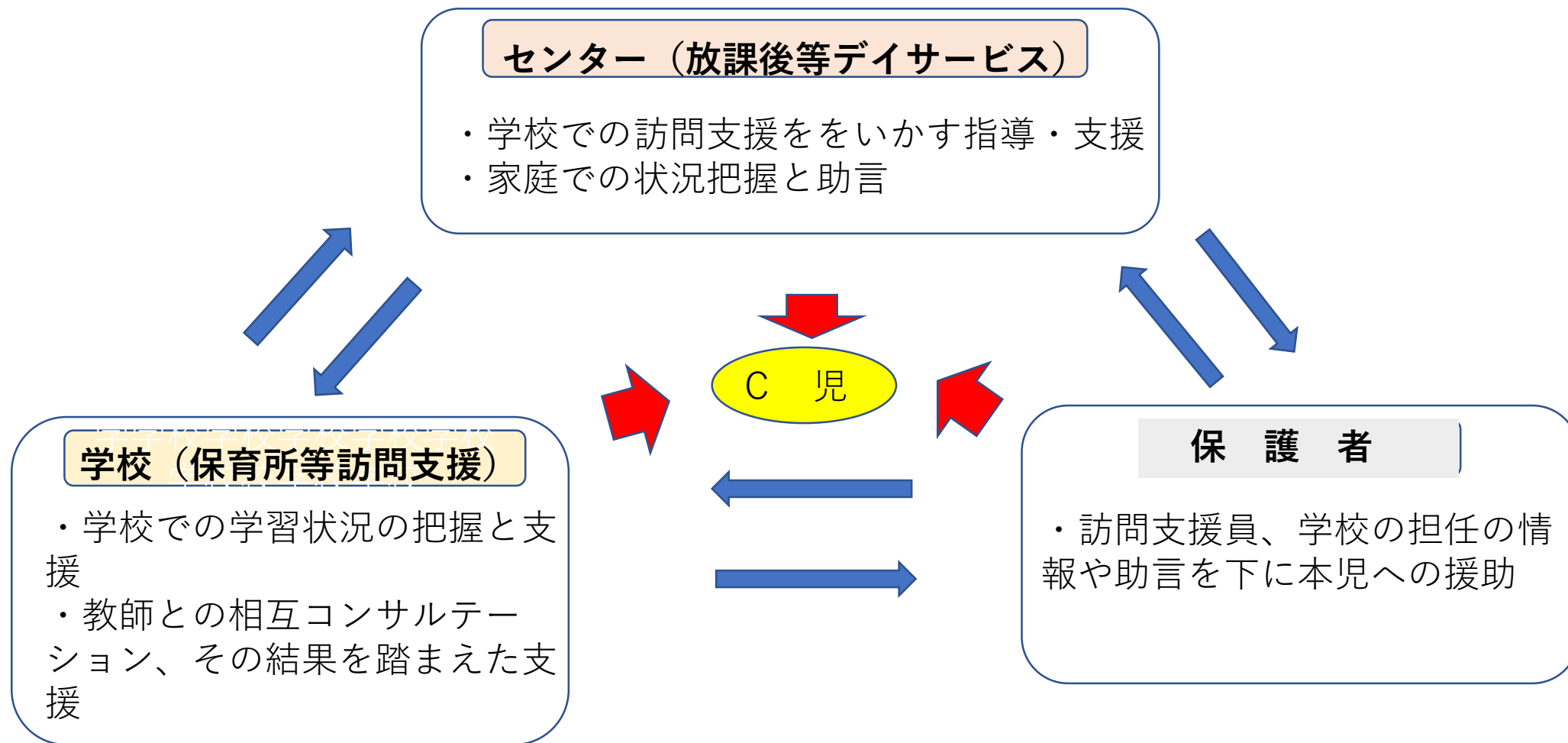
< B児の認知面 >

DN-CAS（2010年4月）

- | | |
|---------------|-------|
| ○プランニング | ○ 6 |
| ○同時処理 | ○ 9 |
| ○注意 | 1 ○ ○ |
| ○ <u>継次処理</u> | ○ 9 |
| ・ 単語の記憶 | ○ |
| ・ 文の記憶 | ○ |
| ・ 発語の速さ／統語の理解 | ○ |

FSIQ	○ 8
VCI	○ 0
PRI	○ 9
<u>WMI</u>	○ 1
PSI	○ 6

保育所訪問支援事業を使った支援



C 児の支援（読み）

< センター（放課後等デイサービス） >

○M I M

- ・ 単語の切り出しーM I MーP Mテスト
- ・ 拗音の読み ー拗音三角シート

○認知トレーニング

○アクセスリーディング

< 学校（保育所訪問支援） >

○一緒に読む。

○文章の意味を考えさせる。

C 児の読みの状況

- ・ 濁音を清音で読む。 マザーグース→マサー~~ク~~ース
- ・ 言葉の言い換え みずた~~に~~→みずた~~まり~~
- ・ 言葉の省略＋言い換え 大き~~な海~~だろな→大き~~い~~だろな
- ・ 名詞の読み間違え 世界中の~~木~~が→世界中の~~海~~が など

< 指導 >

- 1 即時フィードバック（誤りの指摘）
- 2 できたところを認める。
- 3 スモールステップで修正していく。

読みの指導において配慮していること

- 1 意欲をもって何度でも読もうとするように動機づける。
- 2 自分で速さなどを調整し、誤った読み方は自分で修正できるよう支援する。
- 3 うまくいかなくても最後まで粘り強く取り組むよう事前に目標をもたせる。
- 4 時間内（20分～30分程度）で上手に読むことができなかった時は、出来たところ、努力したところを認め、次回につなげるように配慮する。
- 5 自信をもって読めるように指導する。（満足感、達成感）